

2021年6月期

決算説明資料

株式会社ウイルプラスホールディングス
東証第一部：3538

目次

- + 2Q決算概況
- + 今期の取り組み
- + 連結業績
- + 通期連結業績予想
- + 株主還元
- + APPENDIX

2 Q決算概況

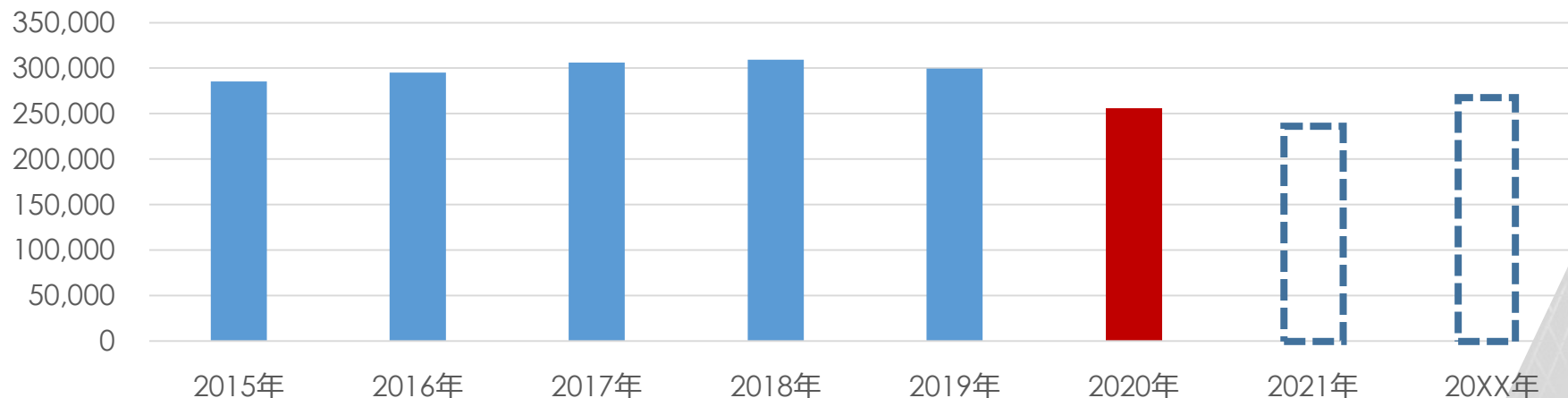
輸入車市場環境

- ・新型コロナウイルスは11月後半より感染者再拡大、収束時期は依然不透明に
- ・輸入車新車市場は直近ではほぼ前年並みに回復するも、年間では前年を下回る
- ・コロナ収束までは前年と同程度に、収束後は例年と同水準程度に緩やかに収斂すると想定

10～12月の国内輸入車販売台数（登録車）

10月	前年比	11月	前年比	12月	前年比	1～12月累計
30,003	154.3%	31,927	119.2%	317,933	91.3%	91.3%

輸入車新規登録台数の推移（歴年）



当社の取り組み方針



感染防止対策の徹底と同時に、オンライン商談や書類の電子化等、コロナ禍での変化に対応した最適な事業活動への転換と、業務の効率化を推進。

新車はストック型ビジネスに繋がる要。コロナ禍でも新車は特別な買い物であることには変わりはなく、店舗での試乗ニーズが高い。さらに、最新のCIに準拠した高品質な店舗体験を付加価値として提供し、顧客満足度向上を追求。3つの成長戦略のもと、積極的な店舗展開で引き続き販売シェア拡大を目指す。

世界的な脱炭素化の潮流が日本にも差し迫る中、今後積極的に取り組んでいくべき課題の一つ。欧州車はEV先進国としてアドバンテージがある。今後加速すると思われるEVの普及に向けて、設備投資を推進、顧客へのいち早いEV体験を提供。

コロナ環境下での取り組み

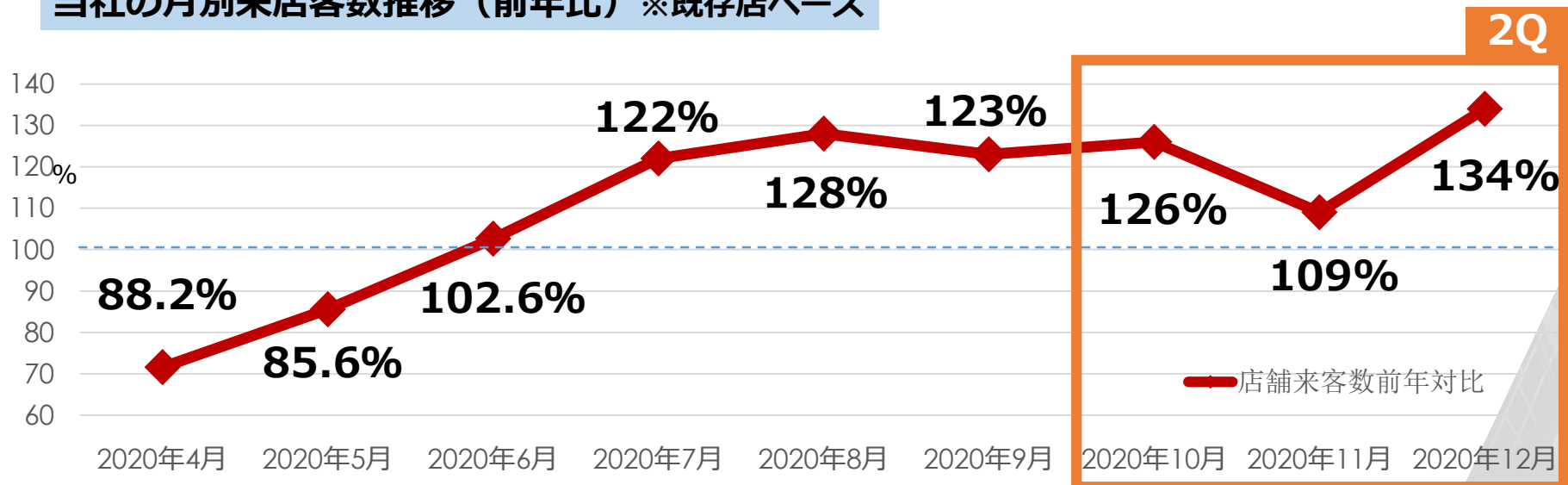
- ・ストック型ビジネス拡大のため、引き続き新車販売に注力
- ・コロナ対策と社内業務を効率化を両軸で推進
- ・既存店舗の来店客数はいずれの月も前年を上回って推移、12月の伸び率は最高に

当社の取り組み

→コロナ禍でも最大限のパフォーマンスが発揮できる環境整備を推進

- ・感染防止対策の徹底
 - ・時短営業
 - ・商談予約制
 - ・保険業務の電子化、業務フローの見直し
 - ・ペーパーレス化の推進
 - ・WEB会議の運用
- …など

当社の月別来店客数推移（前年比）※既存店ベース



日本でも加速する脱炭素化の潮流

世界

2015年12月～
パリ協定採択で欧州を中心に世界各国で本格的な脱炭素化社会の実現に向けた目標の策定と取り組みが進む

2020年

EU：温室効果ガス排出量を1990年比で最低40%削減、EVを3000万台に

2030年

英：ガソリン、ディーゼル車の新車販売禁止

英：ハイブリッド車の新車販売禁止
米（カルフォルニア州等）：
ガソリン車などの新車販売禁止(HV含む)

2035年

中：全新車をハイブリッド車や電気自動車にNEV(EV/PHV/FCV)比率を50%以上に

仏、西：EV以外の新車販売を禁止(PHVを含む)

2040年

EU：温室効果ガス排出量を1990年比で80～95%削減（実質ゼロに）

2050年

日本

日本でも本腰の『グリーン戦略』策定
脱炭素化「21世紀後半」→「30年以内に」

CO2排出量2013年比26%削減
（今年中に引き上げる方向で見直す方針）

遅くとも2030年代半ばまでに
乗用車の新車販売をすべてを電動車化
（2019年までの電動車割合約35%）
※電動車 = EV、PHV、FCV

『脱炭素化社会』の実現
（温室効果ガス排出を実質ゼロに）

EV化に向けた取り組み

脱炭素化で先頭を走る欧州では、各メーカーEV化で日本に先行
当社でもすでにEV化に向けた設備投資を行っており、今後も拡充していく方針

当社取扱いブランドのEV ※一例

2020年～

- ・ ジープ 『Regegade 4Xe』 ※PHV
- ・ フィアット 『500e』
- ・ BMW 『iX』 『iX3』
人気車種X3をベースにしたモデル
- ・ MINI 『ミニクーパーSE』
- ・ ボルボ 『XC40 Recharge』
人気車種XC40のEVモデル
- ・ ポルシェ 『タイカン』
ポルシェ初のフルEV車

当社の取り組み

- ・ 全店舗に最新の充電器の設置を推進
全店舗の84%にすでに充電設備を設置済
加えて、急速充電器を順次設置中

ポルシェセンター仙台
に設置している
最新の急速充電器→

175kw
充電15分で
約400キロ走行が可能



- ・ 充実したデモカーの導入で
いち早くEVの試乗体験を提供

…など

今期の取り組み

今期の取り組み

- ニューモデルを中心に新車受注活動に注力
- 引き続き新車供給が不安定なため、中古車販売にも注力
- ストック型ビジネスの更なる強化

2021年6月期

主な ニューモデル ローンチ	LAND ROVER		RANGE ROVER DEFENDER
	BMW		5シリーズ
	JEEP		RENEGADE 4xe
	PORSCHE		Taycan 

既存店舗への投資

CI変更

- 最新のCIに準拠し、ブランド毎の様々なリテール体験を提供
- 最新の設備等による高品質なサービスを提供

移転オープン

- 視認性、利便性に長けた好立地に移転
- 経営効率の向上

新規店舗への投資

新規オープン

- 商圏の拡大
- 既存エリアの補完
- 既存ブランドの業容拡大

来場顧客、CS向上によるリピーターの増加



収益の向上

2020年12月5日付にて「ジャガー・ランドローバー・アプルーブド湘南」
「ジャガー・ランドローバー湘南サービス」を新築移転オープン 最新のCIに準拠



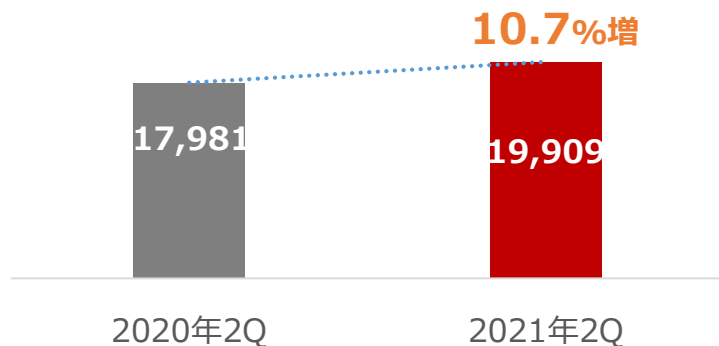
連結業績

連結業績ハイライト

- 売上高：19,909百万円（前年同期比10.7%増）
- 営業利益：1,205百万円（前年同期比61.0%増）

売上高

（単位：百万円）

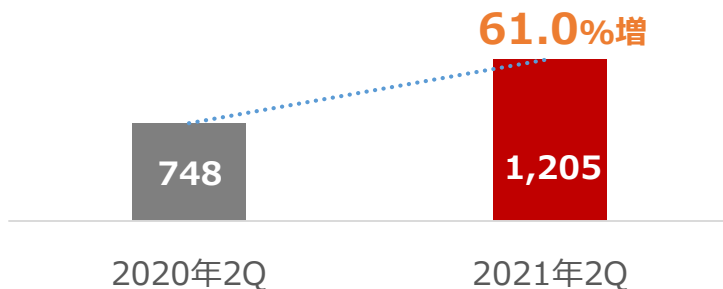


売上高増加要因

- 新車の入荷の遅れが若干回復基調に
- 中古車販売も好調
- 車輜整備、保険等ストック型ビジネスも好調

第二四半期として
過去最高に

営業利益



営業利益増加要因

- 利益率の高い中古車売上の増加
- 資源の有効活用や業務フロー見直し等による効率化
- 新型コロナウイルスの影響により
研修費、旅費交通費が減少

第二四半期として
過去最高に

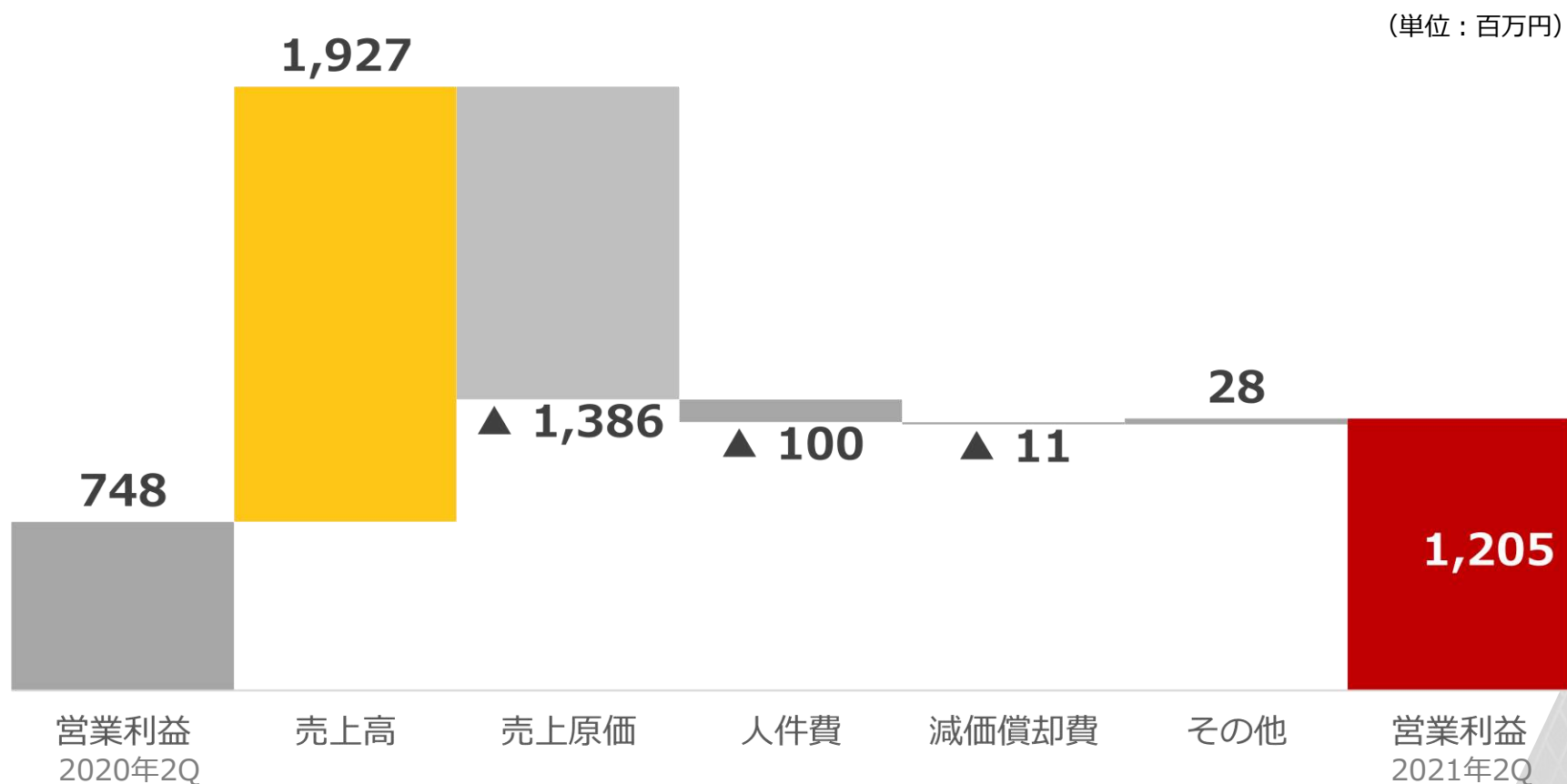
連結損益計算書

(単位：百万円)	2020年2Q	2021年2Q	増減額	増減率
売上高	17,981	19,909	+1,927	10.7%
営業利益	748	1,205	+456	61.0%
営業利益率	4.2%	6.1%	+1.9Pt	-
経常利益	754	1,204	+449	59.6%
経常利益率	4.2%	6.1%	+1.9Pt	-
当期純利益	490	800	+310	63.3%
当期純利益率	2.7%	4.0%	+1.3Pt	-

新車入荷の回復基調、中古車も好調で第二四半期としては過去最高売上に
1Qに引き続き営業利益率も改善

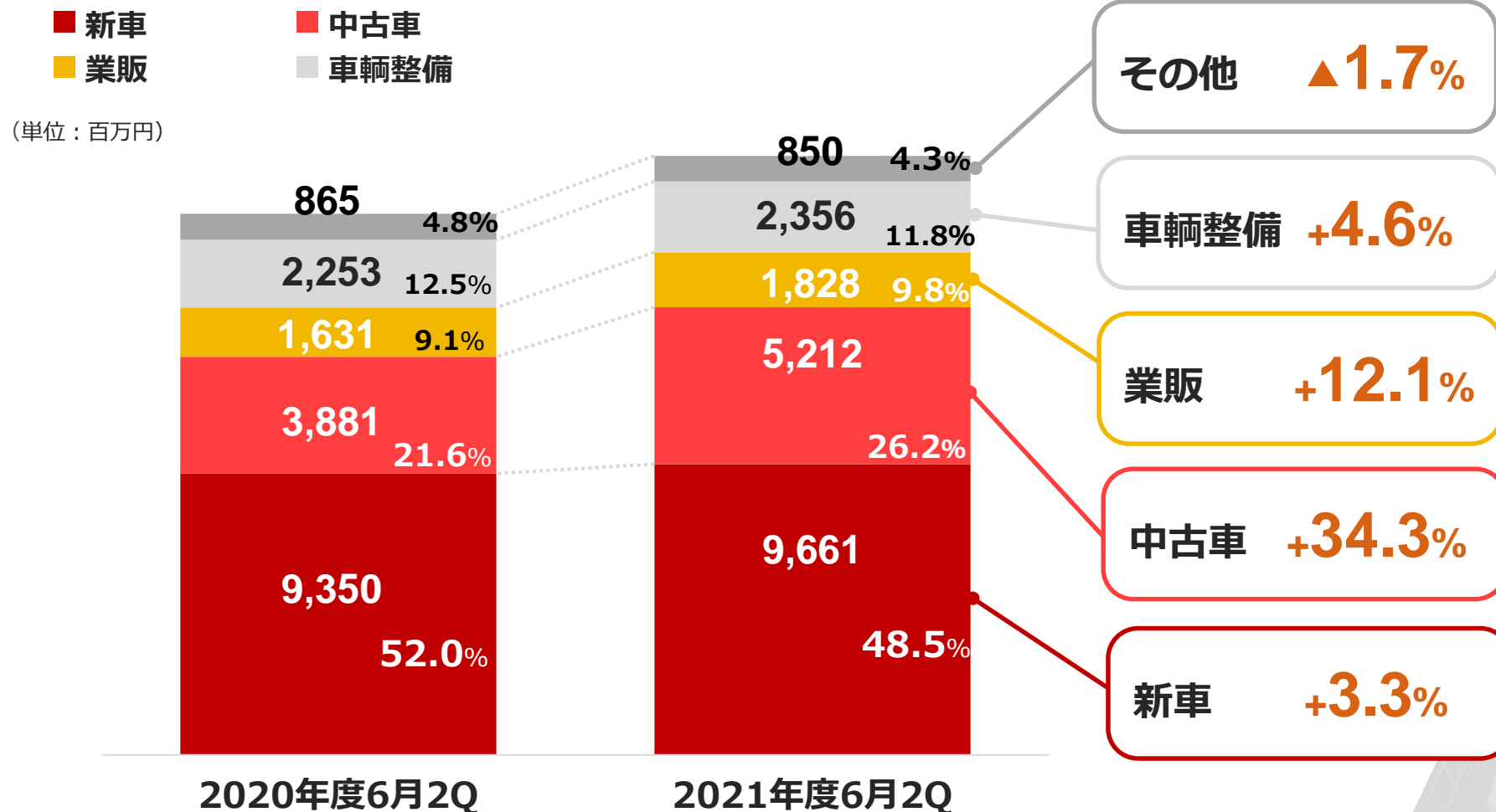
営業利益の推移（増減分析）

売上高は中古車を中心にほぼ全品目で前年同期比増加
店舗数、人員増加に伴い諸経費増加



品目別売上高

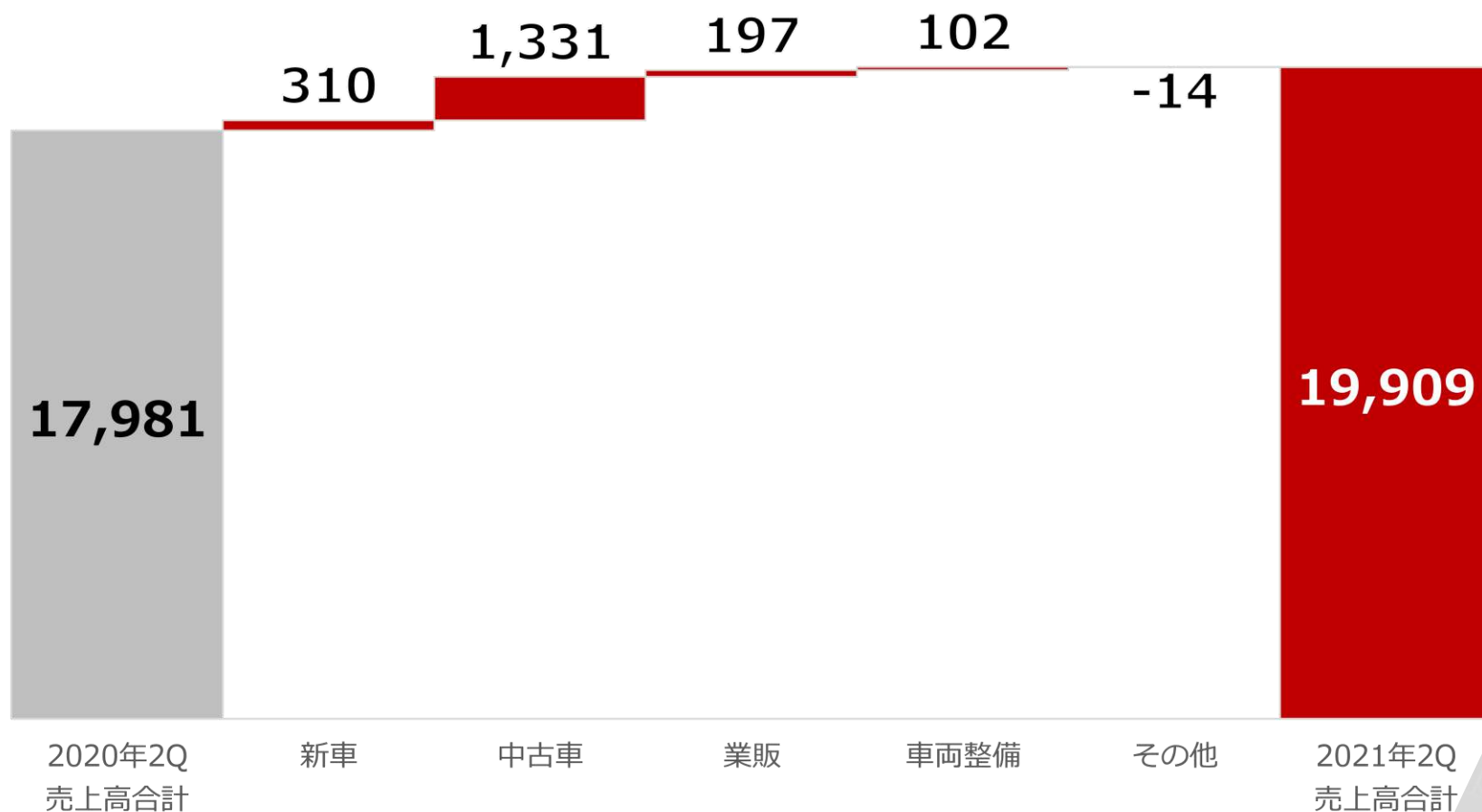
車両販売のうち、中古車の割合が増加



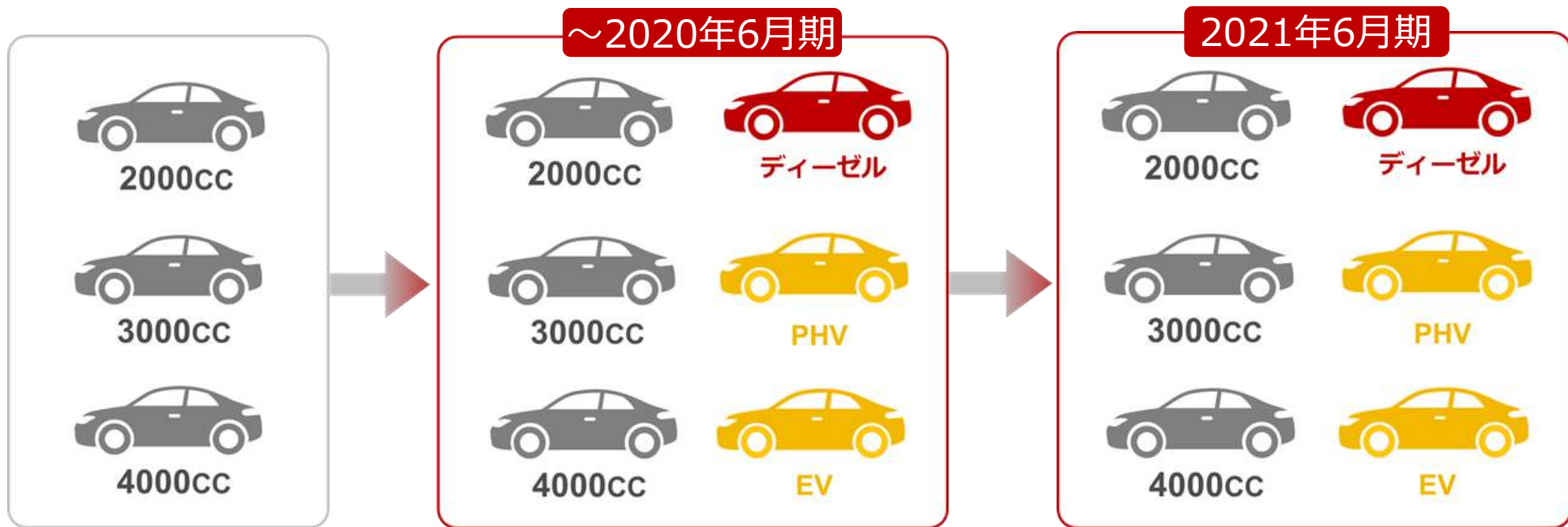
品目別売上高増減分析

中古車を中心にほぼ全品目で増加

(単位：百万円)



デモカーの減価償却費増加



エンジンの多様化対応は落ち着き、店舗当たりの台数増加傾向は横ばい。

減価償却費のうち、車輻減価償却費の割合は微減。

但し、店舗増・高額車輻取扱いに伴い総額は増加。

連結貸借対照表（資産）

(単位：百万円)	2020年度	2021年2Q	増減額	増減率
流動資産	9,269	9,199	▲69	▲0.8%
現預金	2,522	3,109	+587	+23.3%
商品	5,492	4,730	▲762	▲13.9%
固定資産	7,376	7,299	▲77	▲1.0%
建物及び構築物	3,313	3,456	+143	+4.3%
資産合計	16,645	16,498	▲146	▲0.9%
総資産経常利益率 (ROA)	7.6%	※2Q経過時点 7.3%	▲0.3pt	

総資産は146百万円の減少

＋ 現預金が587百万円増加した一方、商品が762百万円減少

連結貸借対照表（負債・純資産）

(単位：百万円)	2020年度	2021年2Q	増減額	増減率
流動負債	9,261	8,598	▲662	▲7.2%
買掛金	3,081	1,766	▲1,315	▲42.7%
その他流動負債	1,700	2,181	+481	+28.3%
固定負債	1,261	1,061	▲199	▲15.8%
負債合計	10,522	9,660	▲861	▲8.2%
純資産	6,123	6,837	+714	+11.7%
自己資本利益率 (ROE)	13.9%	※ 2Q経過時点 12.4%	▲1.5pt	
自己資本比率	36.8%	41.4%	+4.6pt	

純資産は714百万円の増加

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)	2020年度 2Q	2021年度 2Q	増減額
営業CF	▲448	1,145	+1,592
投資CF	▲649	▲214	+435
財務CF	526	▲344	▲870
現金及び現金同等物 増減	▲570	587	+1,157
現金及び現金同等物 残高	843	3,109	+2,267

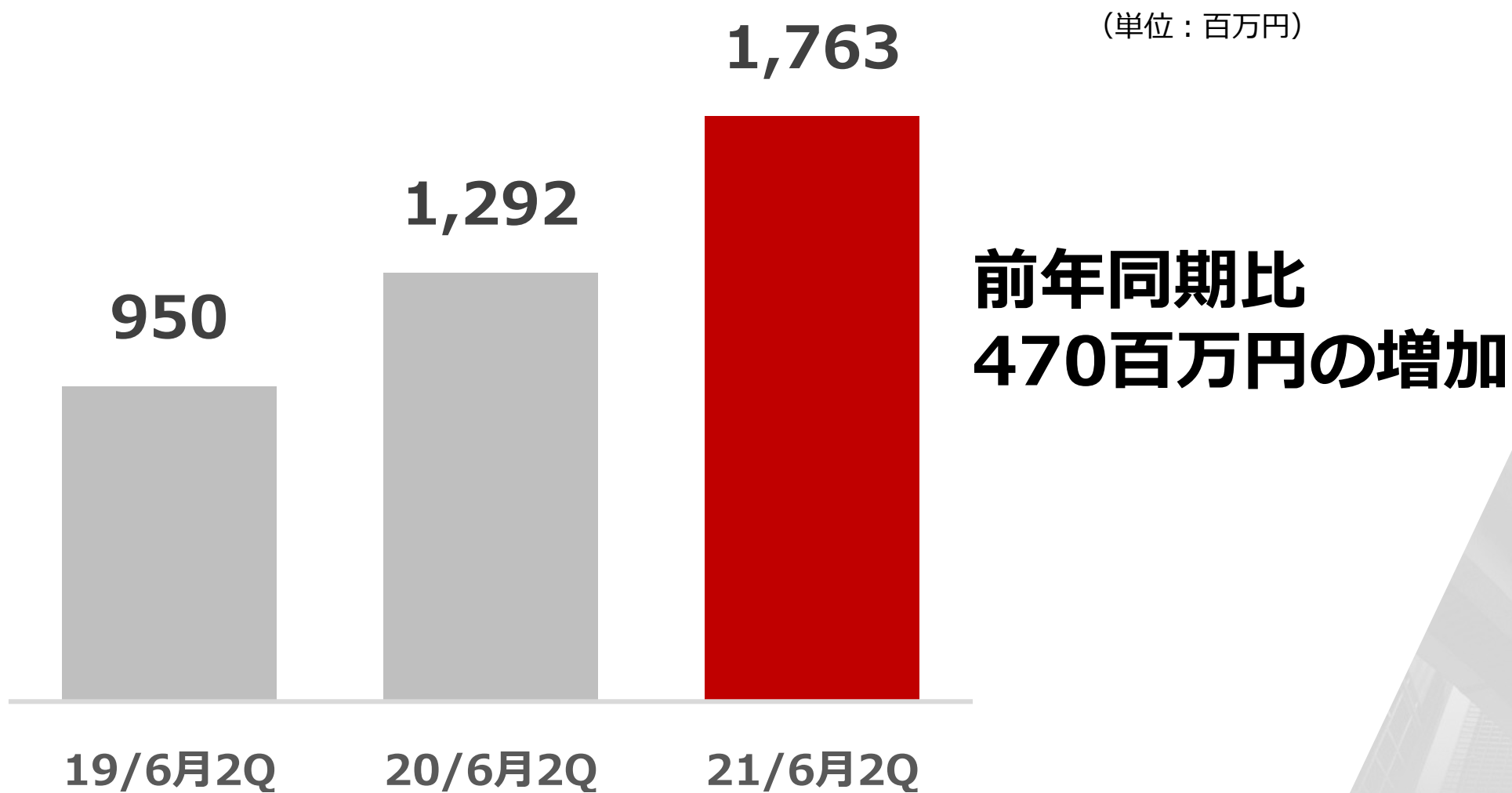
営業キャッシュフロー増加の主な要因

＋ 仕入れ債務の減少：1,305百万円

投資キャッシュフロー減少の主な要因

＋ 固定資産の取得による支出：259百万円…店舗移転のための支出

EBITDA



通期連結業績予想

通期連結業績予想の上方修正について

(単位：百万円)	前期実績 2020年6月期	当初予想	修正後予想	増減額	増減率
売上高	35,068	36,134	38,344	+2,209	6.1%
営業利益	1,160	1,180	1,836	+655	55.5%
営業利益率	3.3%	3.3%	4.8%	+1.5Pt	-
経常利益	1,196	1,170	1,830	+659	56.3%
経常利益率	3.4%	3.2%	4.8%	+1.6Pt	-
当期純利益	802	737	1,180	+443	60.1%
当期純利益率	2.2%	2.0%	3.1%	+1.1Pt	-

売上高の増加に加え、利益率の改善等により、当初計画を上回って推移
足元の受注状況や2Q業績等を踏まえ、上記の通りに修正

通期連結業績予想ハイライト

売上高 : 38,344百万円 (前期比9.3%増)

営業利益 : 1,836百万円 (前期比58.2%増)

- 新型コロナウイルスの影響に関しては
少なくとも今年度中は続くと想定
- ニューモデルを中心に新車受注活動に注力
- 引き続き新車供給が不安定なため、中古車販売も注力
- ストック型ビジネスの拡充
- 商品回転率を高め、資本効率のよい経営を目指す

2Q進捗状況

遅れていた新車の商品入荷が回復基調、中古車販売も堅調

通期業績予想に対する第2四半期進捗率

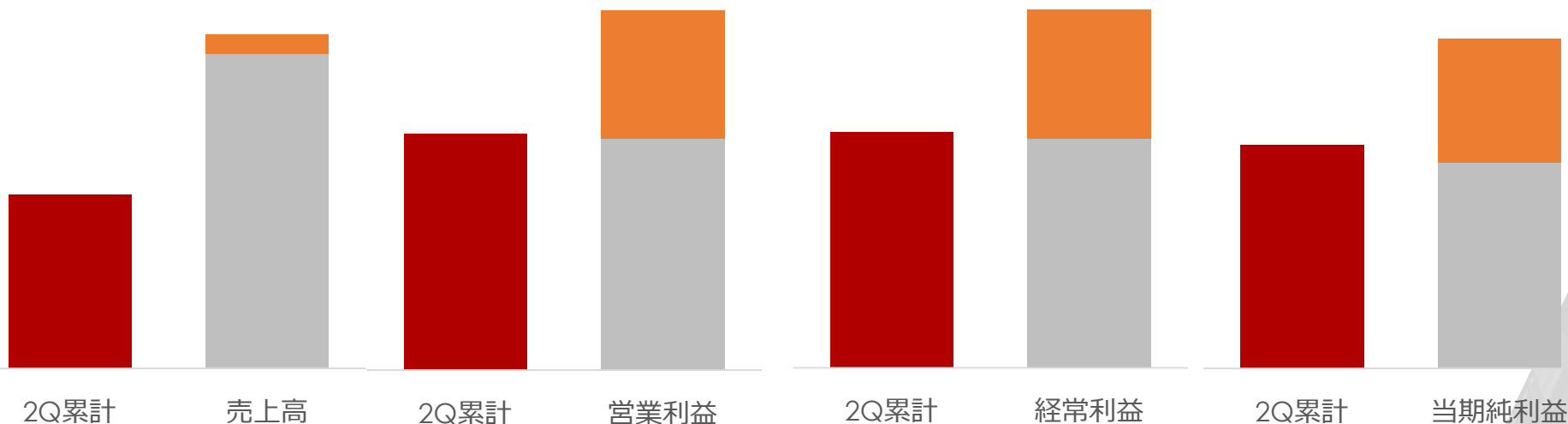
■ 実績 ■ 当初予想 ■ 修正後(累計)
(単位：百万円)

売上高

営業利益

経常利益

当期純利益



進捗率 51.9%

進捗率 65.6%

進捗率 65.8%

進捗率 67.8%

株主還元

- 今期より配当性向の目途を**15.0%→17.5%へ**
- 業績上方修正に伴い、
2021年6月期年間配当は21円77銭への引き上げを予定

1株当たり	2020年6月期 実績	2021年6月期 当初	2021年6月期 修正後(予定)
中間配当	5円00銭	5円00銭	5円00銭
期末配当	9円00銭	8円59銭	16円77銭
年間配当	14円00銭	13円59銭	21円77銭

保有株式数*

基準日

優待内容

100株

6月末日

QUOカード
1,000円分

*基準日の当社株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上の株式を保有されている株主様を対象

APPENDIX

会社概要・沿革

会社概要

商号	株式会社ウイルプラスホールディングス
代表者名	代表取締役社長 成瀬 隆章
設立年月日	2007年10月25日
本社所在地	東京都港区芝5丁目13番地15号 芝三田森ビル8階
資本金	218百万円（2020年12月末時点）
株式市場	東証第一部（証券コード3538）

ウイルプラスホールディングス

チェッカーモータース（株）

インポーター FCAジャパン(株)
ジャガー・ランドローバー
・ジャパン(株)

店舗数 17店舗（2020年6月末時点）

取扱いブランド



ウイルプラスモーター（株）

インポーター ビー・エム・
ダブリュー(株)

店舗数 9店舗（2020年6月末時点）

取扱いブランド



帝欧オート（株）

インポーター ボルボ・カー・
ジャパン(株)

店舗数 4店舗（2020年6月末時点）

取扱いブランド



ウイルプラスアインス（株）

インポーター ポルシェ ジャパン(株)

店舗数 2店舗（2020年6月末時点）

取扱いブランド



会社沿革

2008年7月
チェッカーモータース(株) 子会社化
⇒関東エリアへの本格進出
⇒FIAT・Alfa Romeoの取扱い開始

2009年7月
クライスラー日本(株)より直営店2店舗譲受

2009年9月
ウイルプラスモトーレン(株)
BMW・MINI 5店舗の事業譲受
⇒BMW・MINIの取扱い開始

2014年4月
帝欧オート(株) 子会社化
⇒VOLVOの取扱い開始

2017年11月
ウイルプラスアインス(株)を設立

2018年4月
ジャガー・ランドローバー湘南
事業譲受
⇒JAGUAR・LANDROVERの
取扱い開始

2018年12月
ポルシェ仙台事業譲受
⇒PORSCHEの取扱い開始
⇒東北エリア初進出

2019年3月
MINI山口、MINI NEXT
周南新規オープン
⇒中国エリア初進出

2019年4月
ジャガー・ランドローバー
三鷹事業譲受

2007年6月末時点

3店舗

福岡県 2店舗

東京都・神奈川県
1店舗

2010年6月末時点

19店舗

福岡県 7店舗

東京都・神奈川県
12店舗

2020年6月末時点

32店舗

福岡県 14店舗

山口県 2店舗

宮城県 1店舗

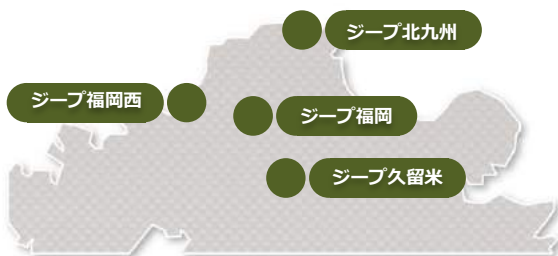
福島県 1店舗

東京都・神奈川県
14店舗



Jeep JEEP Wrangler

KYUSHU AREA



福岡市博多区麦野3-19-3
TEL : 092-574-4301



福岡市西区福重4-5-3
TEL : 092-894-5030

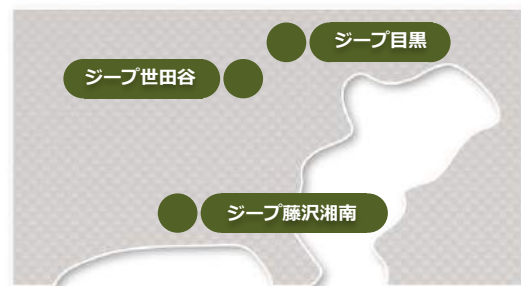


久留米市東合川7-1-1
TEL : 0942-40-7775



北九州市小倉北区木町1-8-3
TEL : 093-583-0770

TOKYO AREA



世田谷区上野毛1-34-11
TEL : 03-3704-1261



茅ヶ崎市赤松町6-50
TEL : 0467-50-1411



目黒区下目黒2-23-18
TEL : 03-5436-6631

FIAT/ABARTH



TOKYO AREA

フィアット/池袋

フィアット/世田谷

フィアット/田園調布SV

フィアット/田園調布

フィアット/藤沢湘南



フィアット/アバルト田園調布

世田谷区玉川田園調布2-7-19
TEL : 03-3722-3722



フィアット/アバルト世田谷

世田谷区世田谷2-4-11
TEL : 03-5426-4301



フィアット/アバルト池袋

板橋区小茂根4-9-2
TEL : 03-5917-0377



フィアット/アバルト藤沢湘南

茅ヶ崎市赤松町6-50
TEL : 0467-50-1421



フィアット/アバルト田園調布サービス

大田区南千束1-3-8
TEL : 03-5754-3722

Alfa Romeo



TOKYO AREA



アルファ ロメオ大田

大田区南千束1-3-8
TEL : 03-5754-3728



アルファ ロメオ世田谷

世田谷区世田谷2-4-11
TEL : 03-5426-4301



アルファ ロメオ藤沢湘南

茅ヶ崎市赤松町6-50
TEL : 0467-50-1421

JAGUAR/LAND ROVER

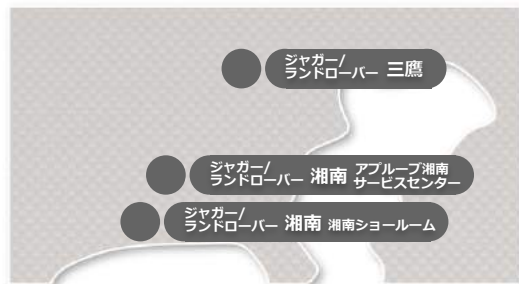


JAGUAR
F-TYPE



LAND ROVER
DEFENDER

TOKYO AREA



ジャガー/ランドローバー三鷹

三鷹市野崎3-25-12
TEL : 0422-31-1120



ジャガー/ランドローバー湘南
湘南ショールーム

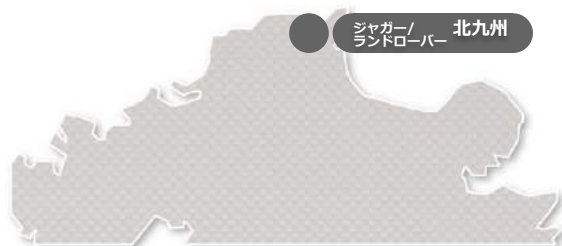
茅ヶ崎市汐見台2-22
TEL : 0467-39-5517



ジャガー/ランドローバー湘南
アブループ/サービスセンター

藤沢市亀井野3277
TEL : 0463-51-4088

KYUSHU AREA



ジャガー/ランドローバー北九州

北九州市小倉北区西港町30-1
TEL : 093-562-0707



BMW BMW 5 Series Sedan

KYUSHU AREA

Willplus BMW 八幡

Willplus BMW 小倉

BMW Premium Selection 八幡



Willplus BMW小倉

北九州市小倉北区豎町1-1-25
TEL : 093-591-1166



Willplus BMW八幡

北九州市八幡東区桃園2-1-1
TEL : 093-663-6555



BMW Premium Selection八幡

北九州市八幡東区桃園2-1-1
TEL : 093-663-6555

KYUSHU AREA



MINI
MINI 3 DOOR

CHUGOKU AREA



MINI小倉

北九州市小倉北区木町1-7-10
TEL : 093-571-4132



MINI福岡西

福岡市西区福重3-33-11
TEL : 092-892-8132



MINI博多

福岡市博多区麦野3-19-5
TEL : 092-593-9832



MINI新宿

新宿区西新宿6-14-1
TEL : 03-5909-8632

TOKYO AREA



**MINI NEXT 中野/
MINI新宿サービスセンター**

中野区江原町2-28-10
TEL : 03-3954-5021



MINI山口

山口市朝田939-1
TEL : 083-901-3132



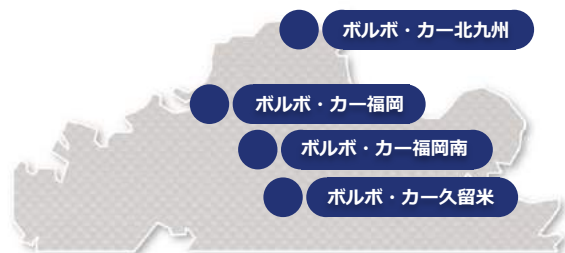
MINI NEXT周南

周南市横浜町13-7
TEL : 0834-33-6800



VOLVO
XC40

KYUSHU AREA



ボルボ・カー福岡
福岡市早良区飯倉3-20-38
TEL : 092-832-2233



ボルボ・カー福岡南
大野城市御笠川4-12-1
TEL : 092-504-8800



ボルボ・カー北九州
北九州市戸畑区一枝 4-7-22
TEL : 093-873-3838

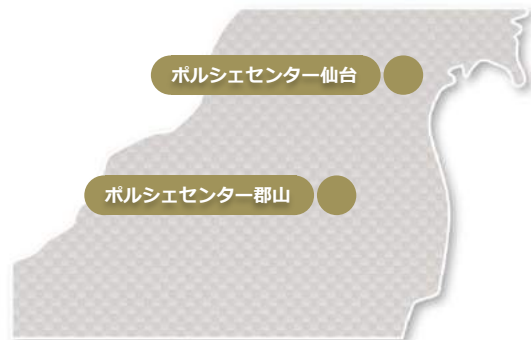


ボルボ・カー久留米
久留米市東合川 4-1-27
TEL : 0942-45-0960



PORSCHE
Taycan

TOHOKU AREA



ポルシェセンター仙台

仙台市泉区山の寺2-1-13
TEL : 022-375-0911



ポルシェセンター郡山

郡山市喜久田町松ヶ作16-200
TEL : 024-963-1911

チェッカーモーターズ (株)

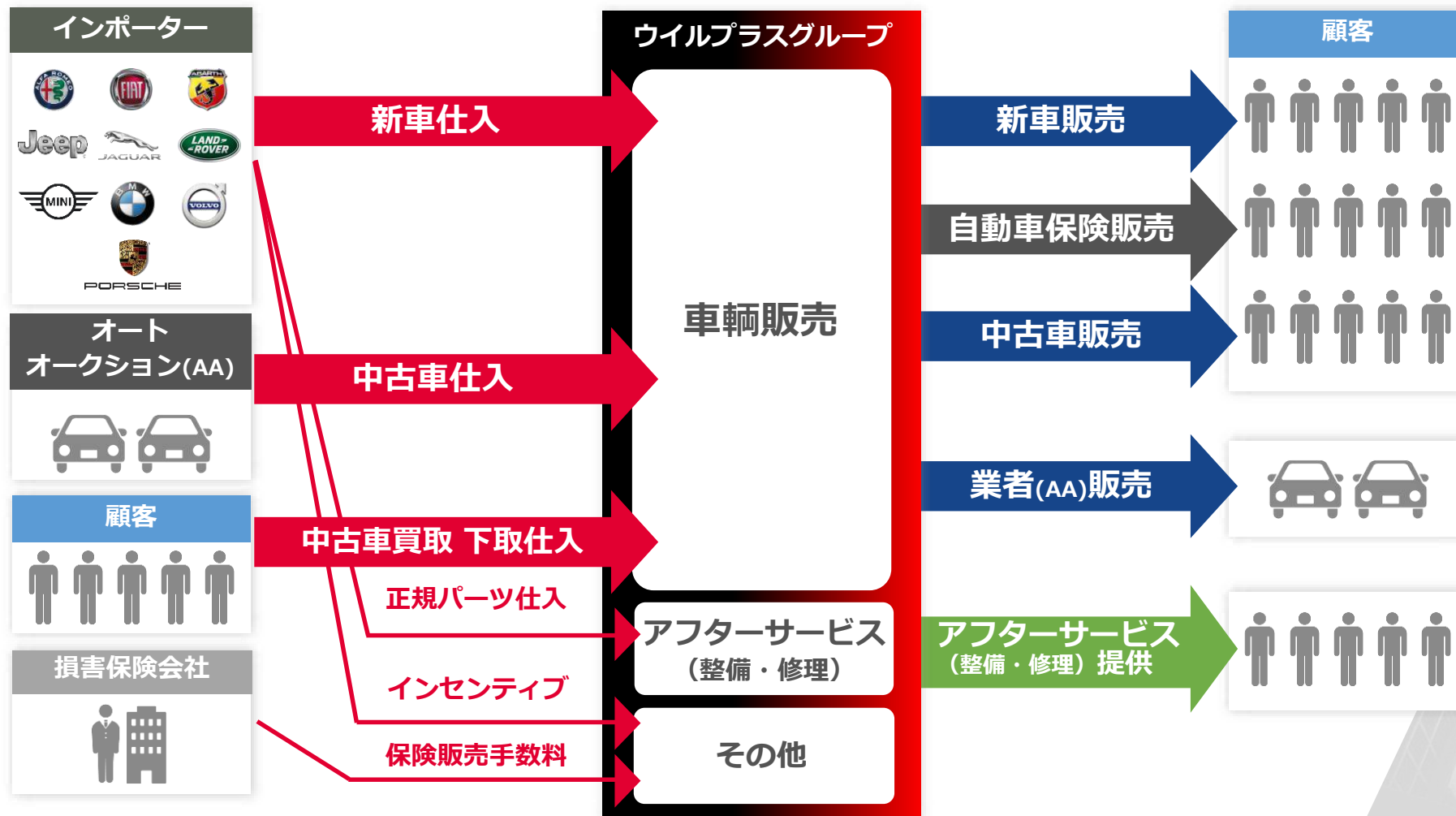


KYUSHU AREA



事業内容

新車、中古車、業販、車輛整備、その他を取扱い

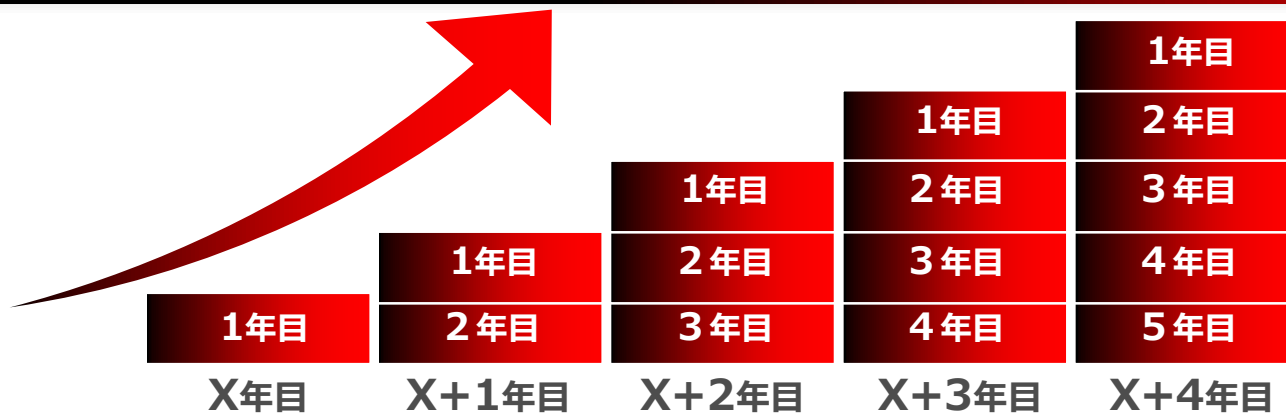


ストック型ビジネス

車輜整備、その他事業はストック型のビジネスモデル



ストック型ビジネスによる安定収入



成長戦略

マルチブランド戦略

ドミナント戦略

M&A戦略

マルチブランド戦略

計10ブランドを扱うことにより、ブランド間の新型モデル投入時期の差異による販売サイクルへの影響を平準化

新型モデル発売時期による平準化イメージ



X年 新型モデル

 EVOQUE	 1シリーズ	 560
---	--	---

X+1年 新型モデル

 DEFENDER	 RENEGADE 4 xe	 Taycan
---	--	---

ドミナント戦略

ディーラーネットワークのドミナント（例）



神奈川エリア ディーラーネットワーク

- ① ジャガー・ランドローバー湘南（湘南ショールーム）
- ② ジャガー・ランドローバー湘南（アプルード湘南/サービスセンター）
- ③ JEEP藤沢湘南
- ④ アルファロメオ藤沢湘南
- ⑤ フィアット・アバルト藤沢湘南



北九州エリア ディーラーネットワーク

- ① ボルボ・カー北九州
- ② JEEP北九州
- ③ BMW小倉
- ④ BMW八幡
- ⑤ MINI小倉
- ⑥ ジャガー・ランドローバー北九州

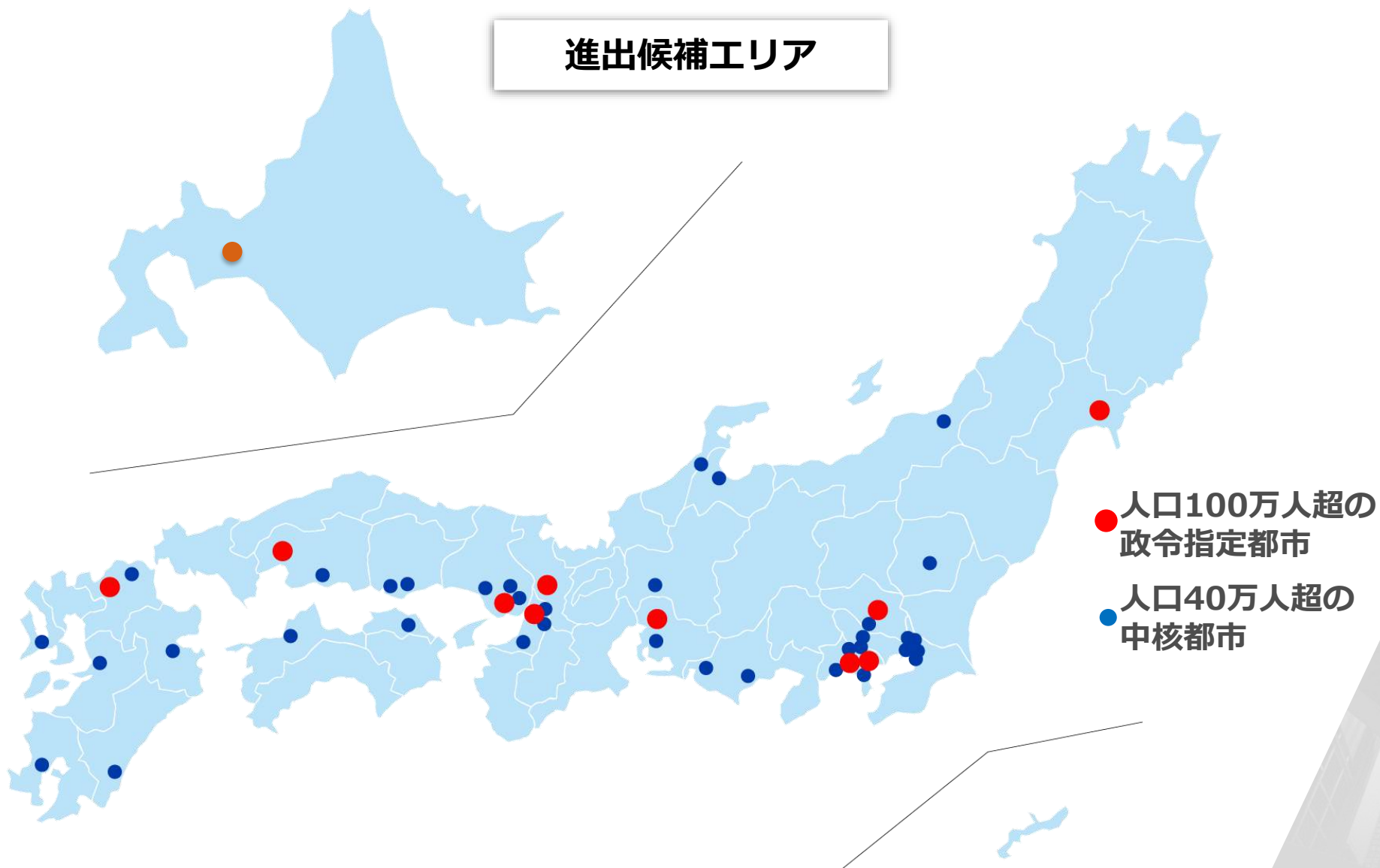


新たなエリアへの進出

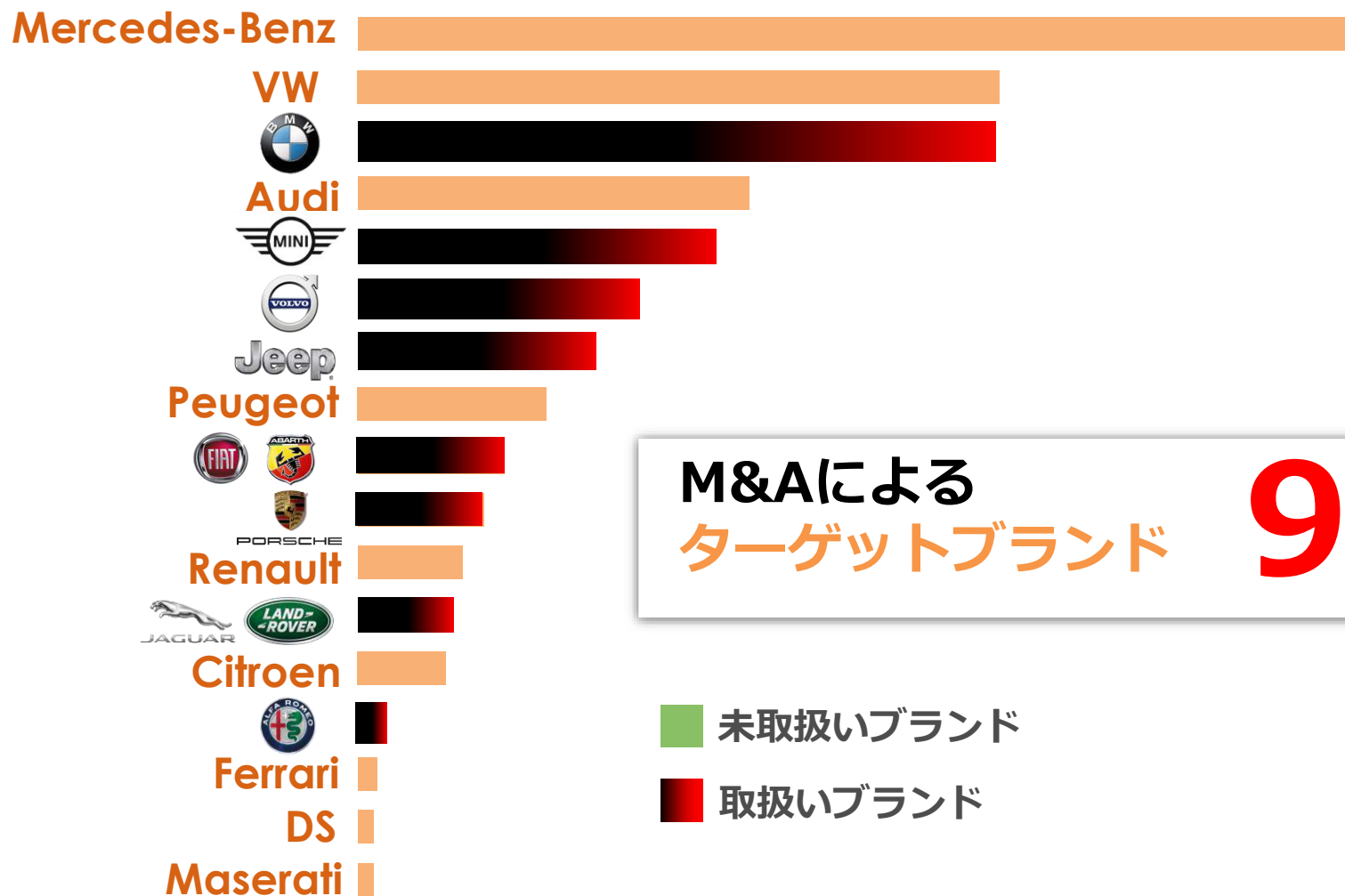
新たなブランドの獲得
(マルチブランド戦略)

既存ブランドのシェア拡大

進出候補エリア



未取扱いブランド



M&Aによる
ターゲットブランド **9**以上

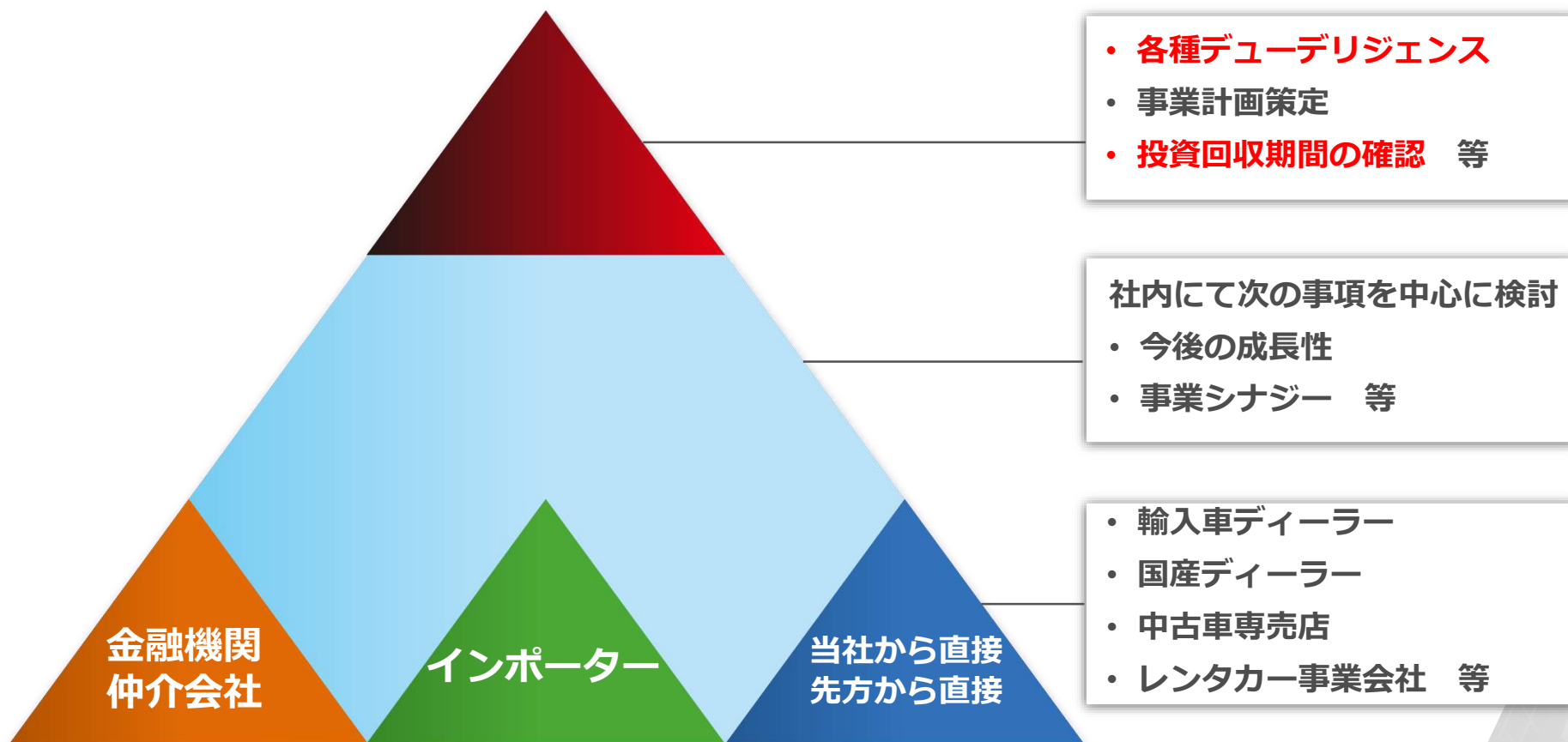
■ 未取扱いブランド
■ 取扱いブランド

※国内新規登録台数順

M&A戦略

M&A案件の発生・成立

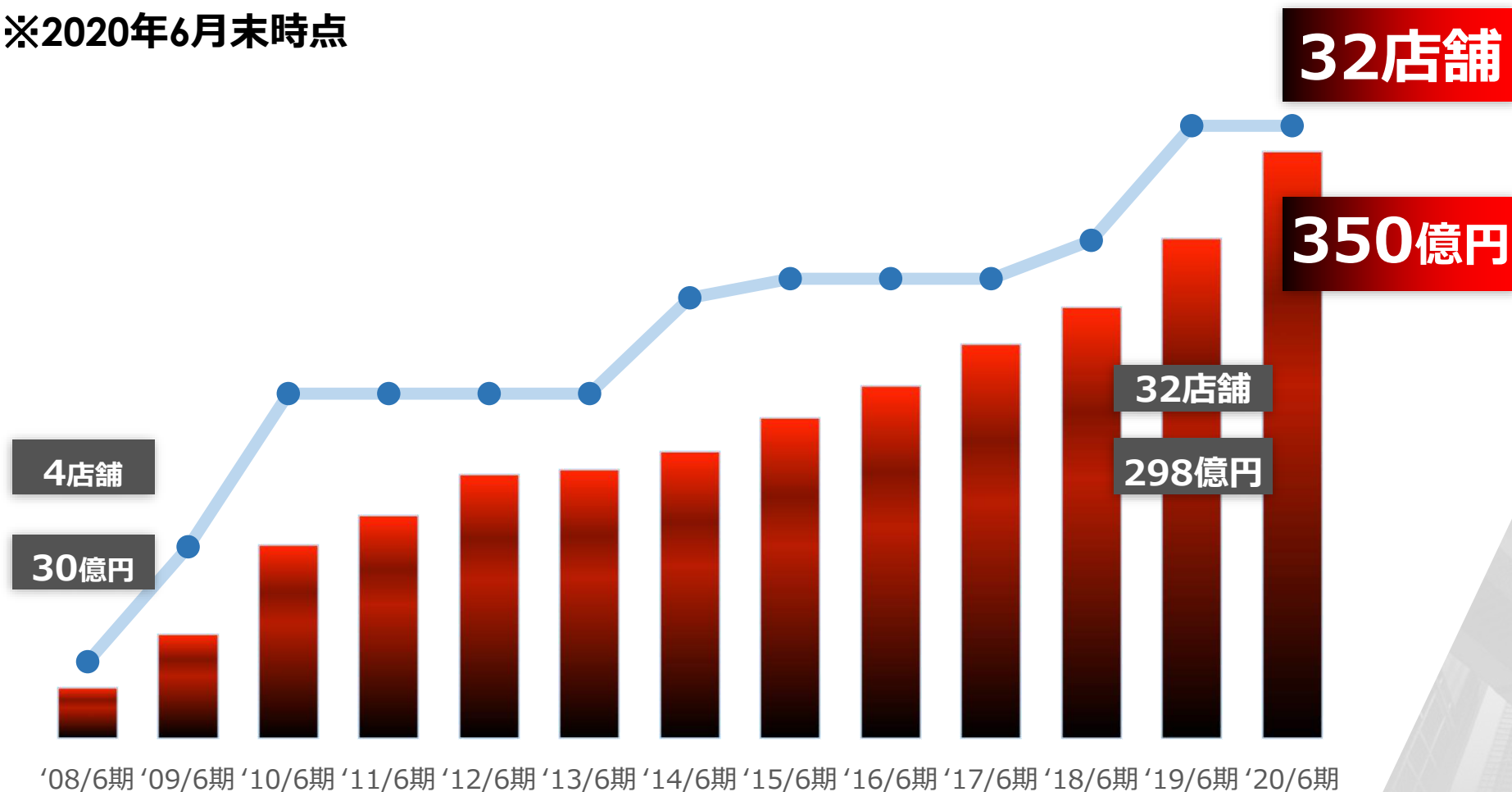
- □金融機関等の紹介、インポーター、オーナー持ちこみ等により発生
- □当社の投資回収基準に沿った案件のみデューデリジェンスを実施し、交渉を経て成立



店舗数及び売上高の推移

積極的なM&Aと新規出店により売上高が増加

※2020年6月末時点

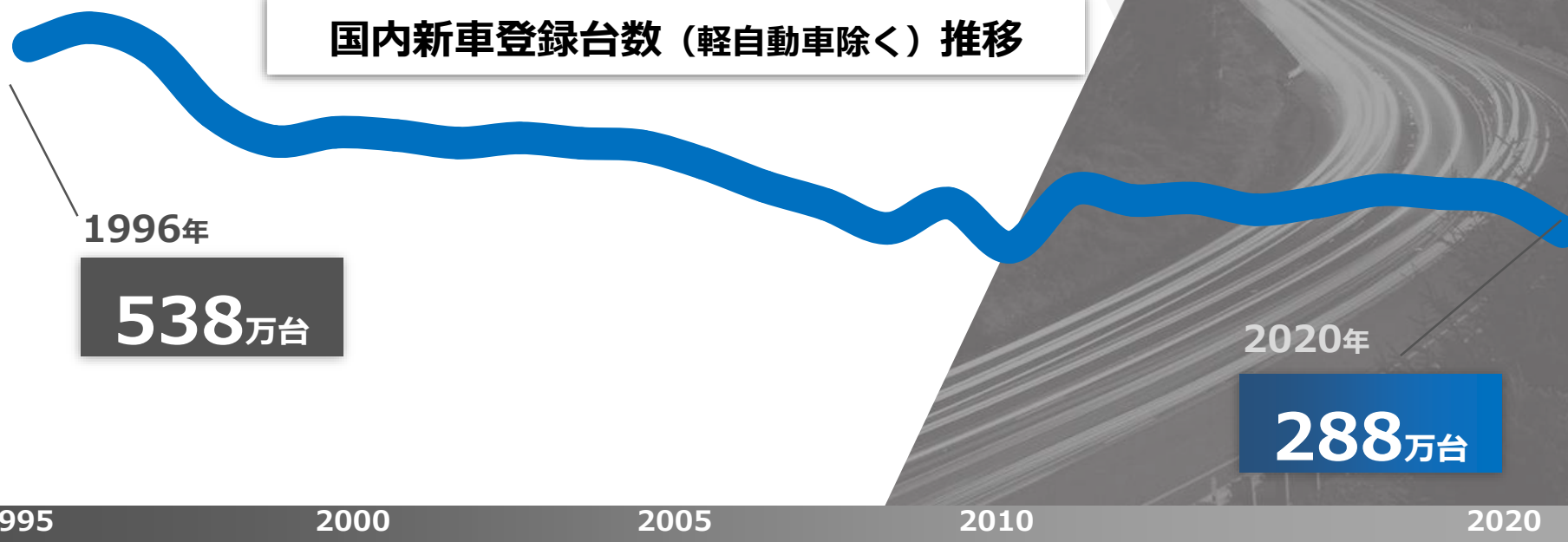


市場動向

国内新車登録台数は減少傾向

少子高齢化
性能向上による保有期間の長期化
消費スタイル・嗜好の変化

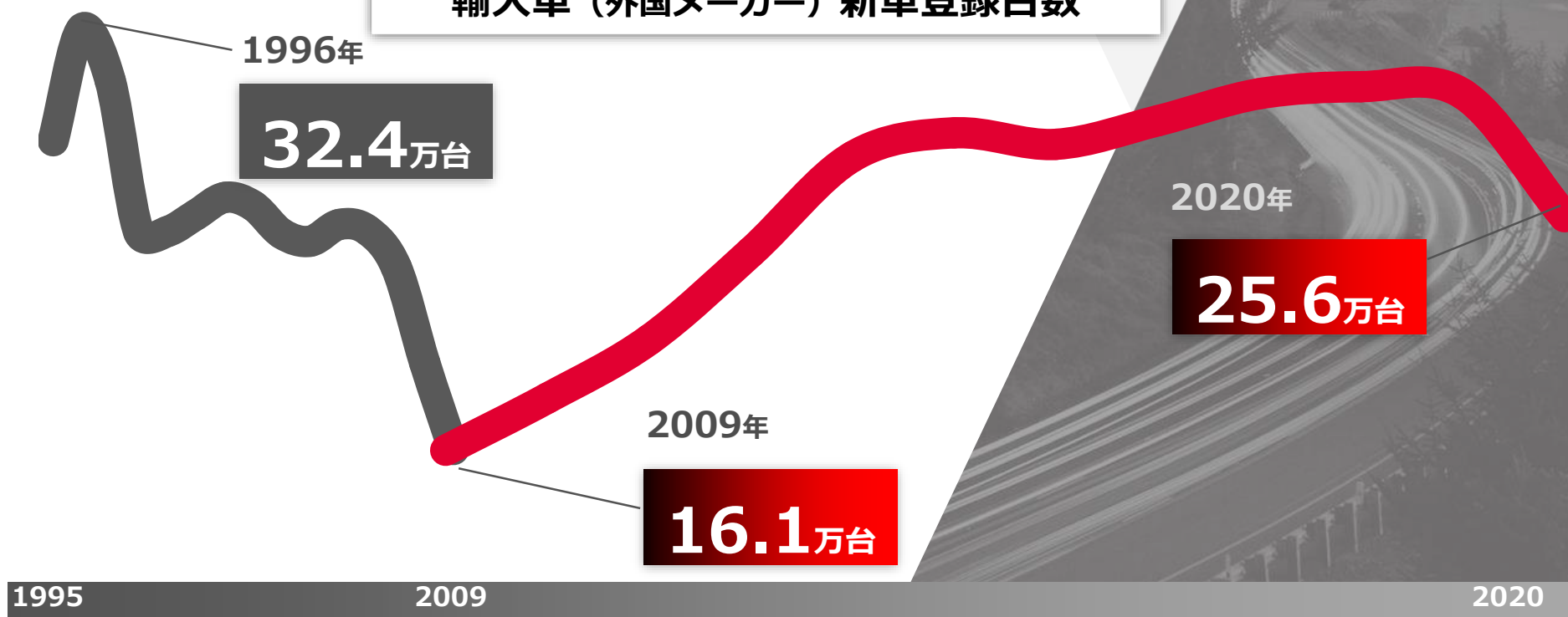
国内新車登録台数（軽自動車除く）推移



国内における輸入車市場は拡大傾向

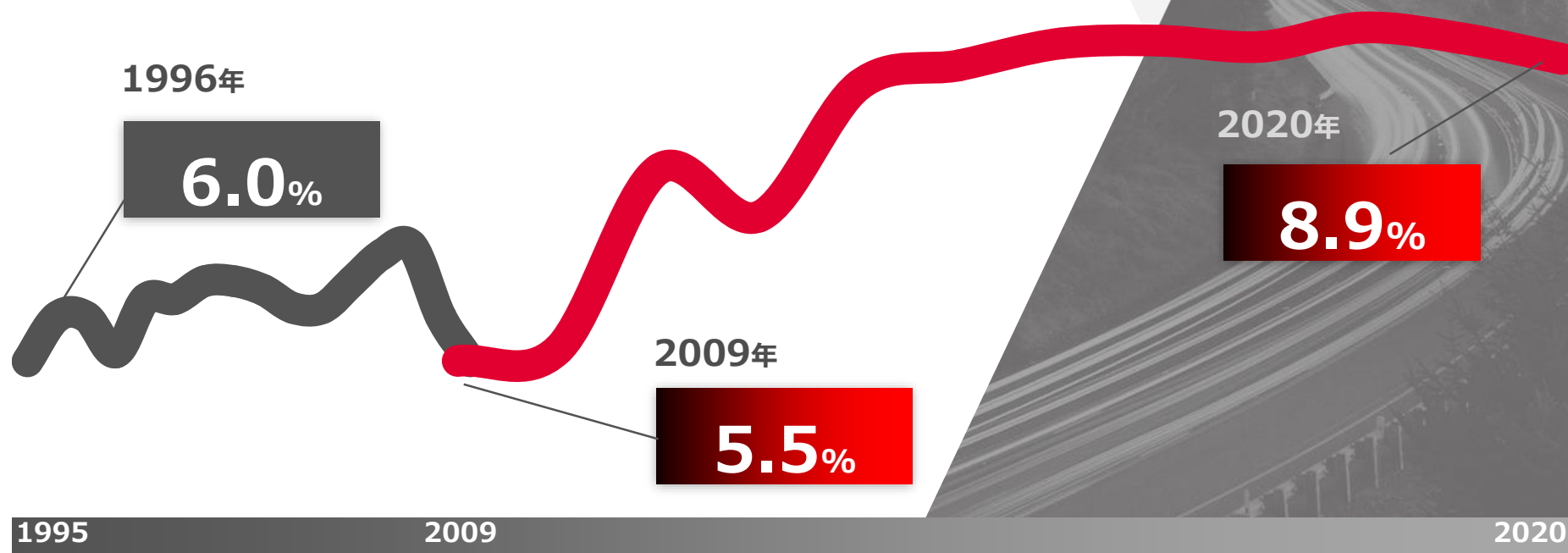
リーマンショック後、新車登録台数は増加

輸入車（外国メーカー）新車登録台数



国内乗用車（軽自動車除く）における 輸入車シェアは増加

国内新車登録台数（軽自動車除く）における 輸入車シェア登録台数

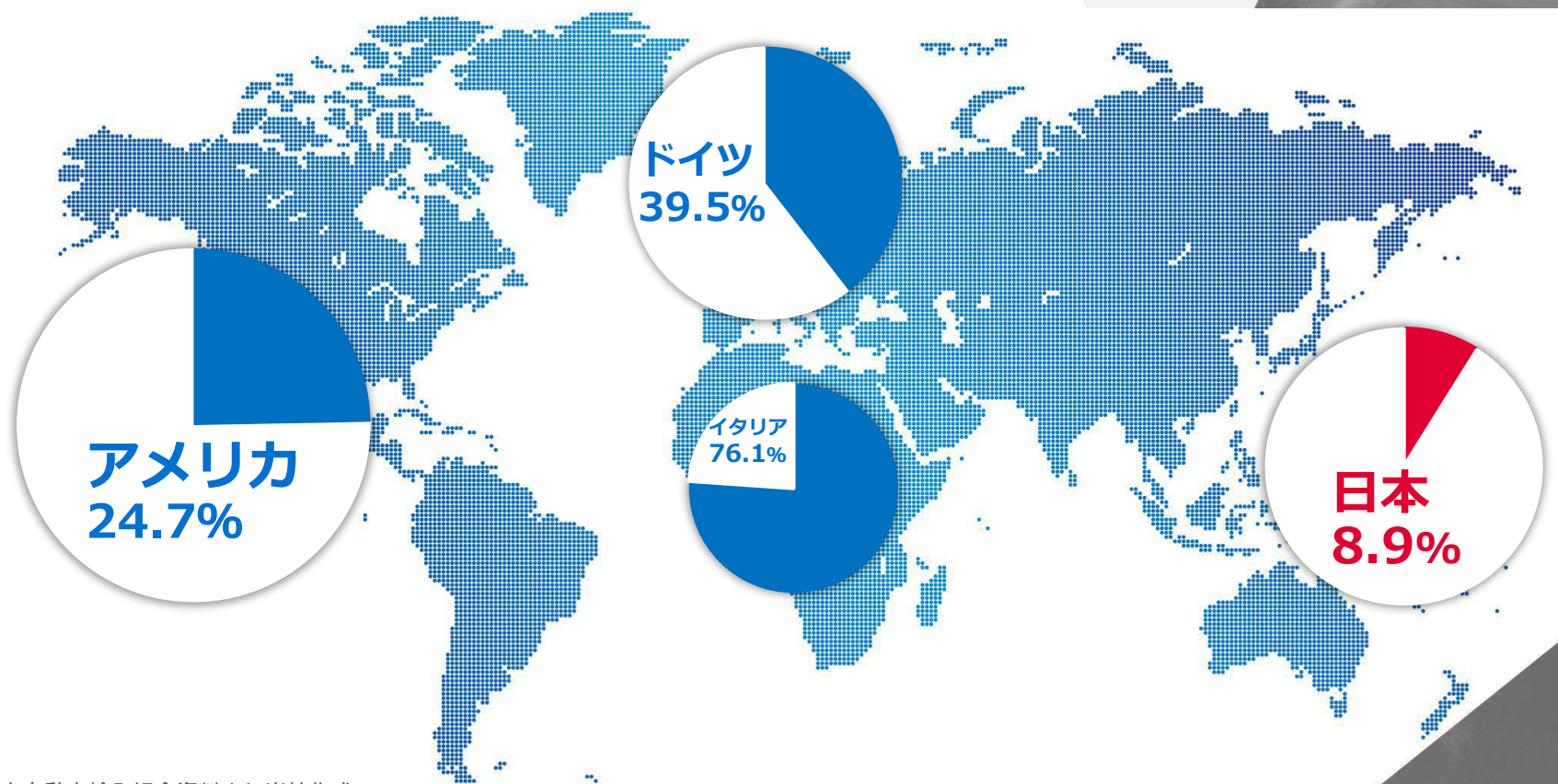


国内輸入車シェアの拡大

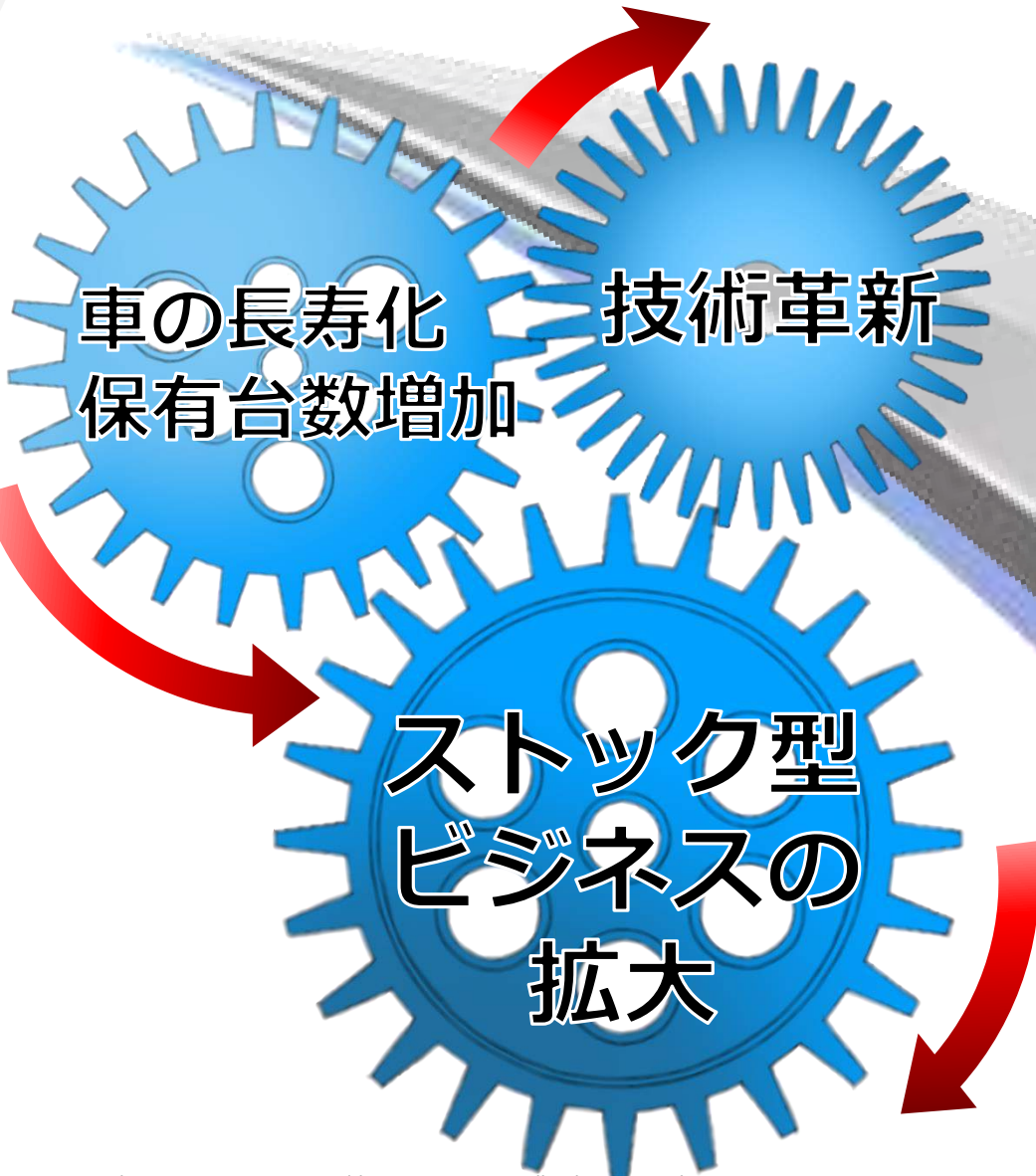
日本の輸入車シェアは拡大傾向だが、諸外国比では低水準



を擁するドイツの輸入車シェアは39.5%



ストック型ビジネスの今後の重要性



自動車産業は
大変革の時期を
迎えようとしている

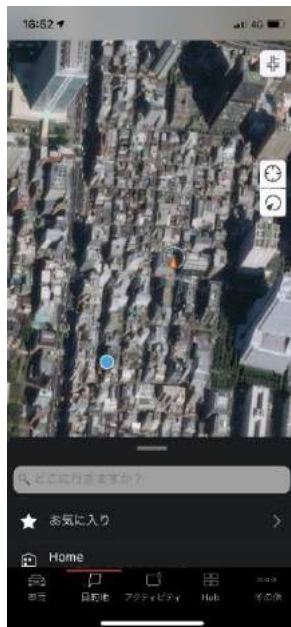


1970年



2020年

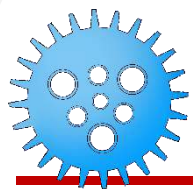
CASE connected



修理もメーカーの専用診断機が必要になり、ディーラーでのみ行える修理が増える。
→**正規ディーラーの重要性が高まる**



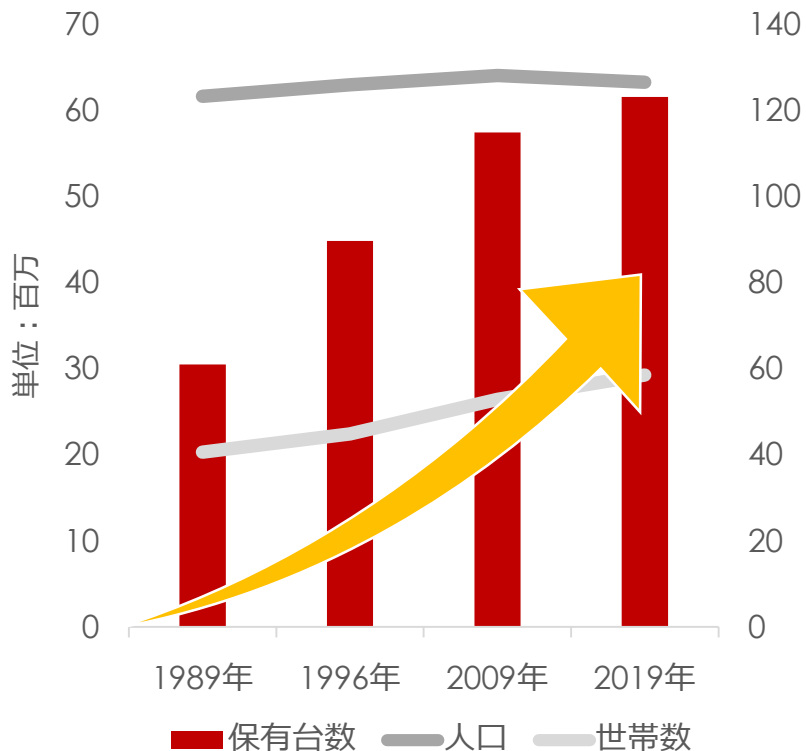
車両へのSIMカード搭載により、スマホを通して状態把握や遠隔操作ができる車が増えている
カーナビや車両制御プログラムをインターネット経由でアップデートするメーカーも



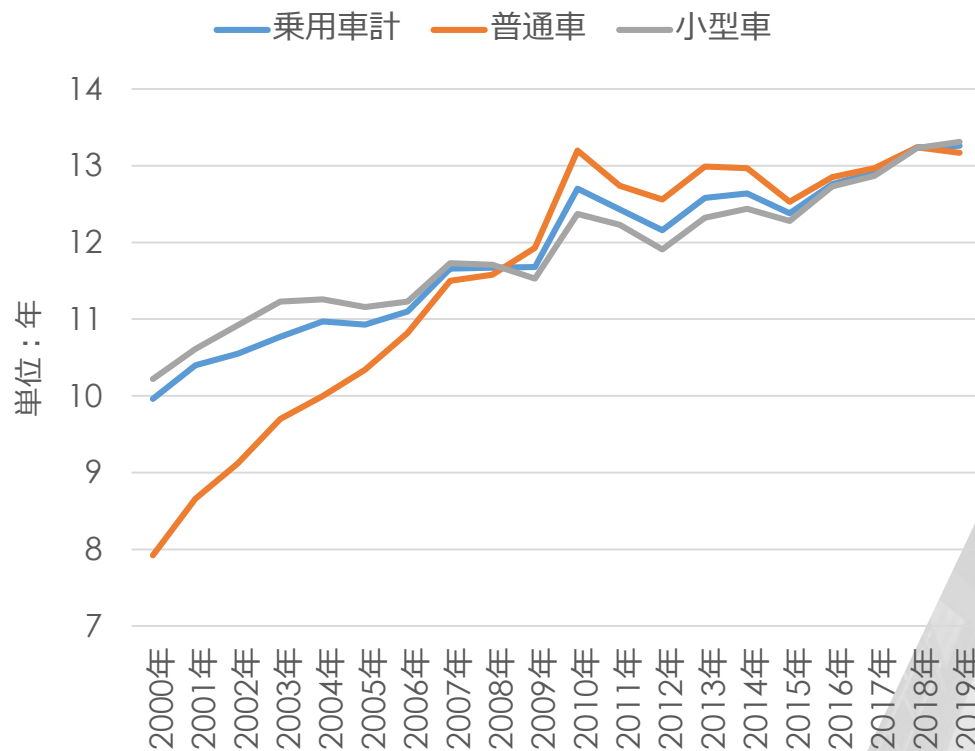
市場環境の変化

横ばいの人口に対し、車保有台数や平均使用年数は増加傾向。

国内人口と車保有台数の増減状況



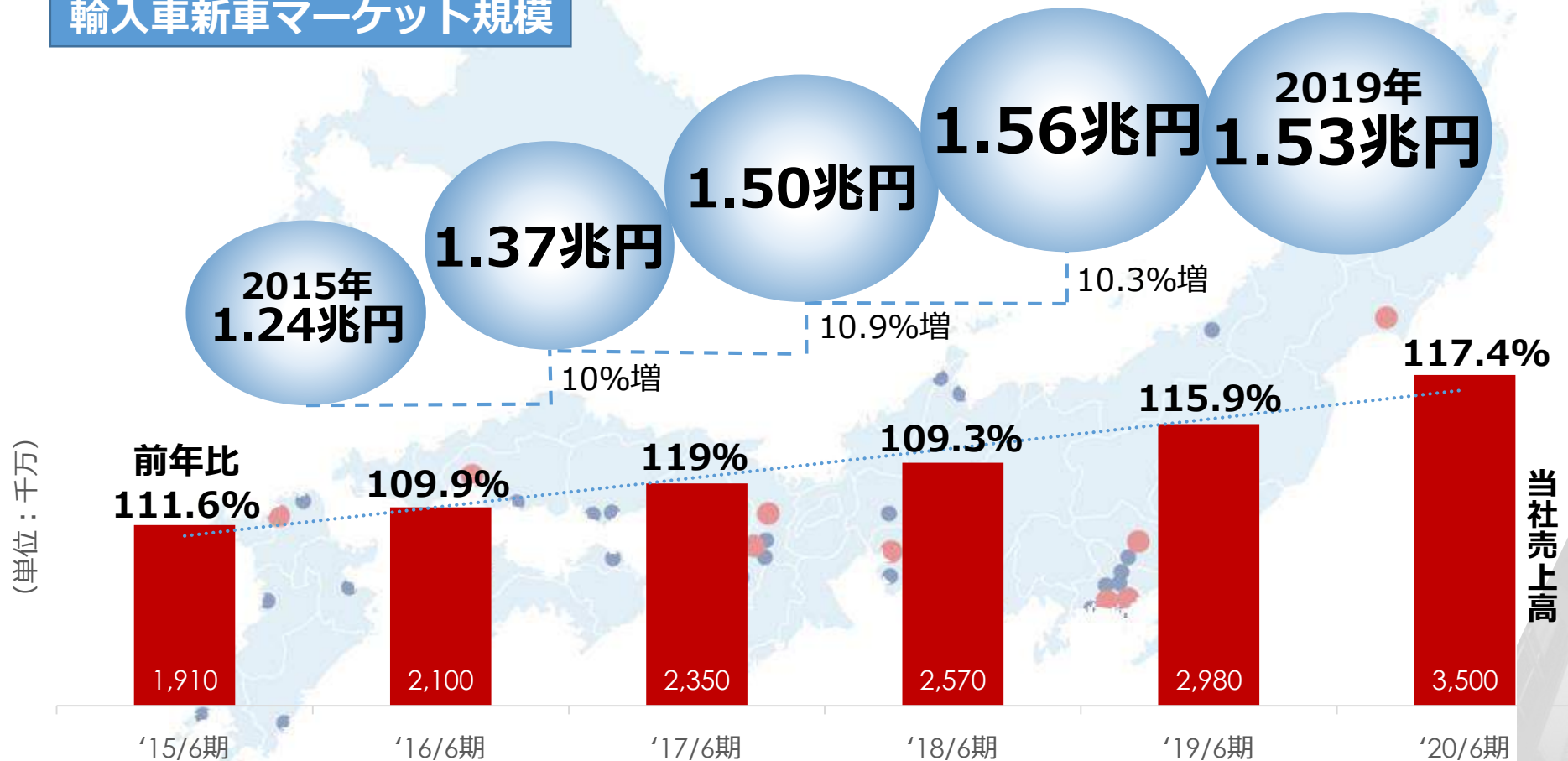
自動車平均使用年数推移



マーケット規模と今後の展望

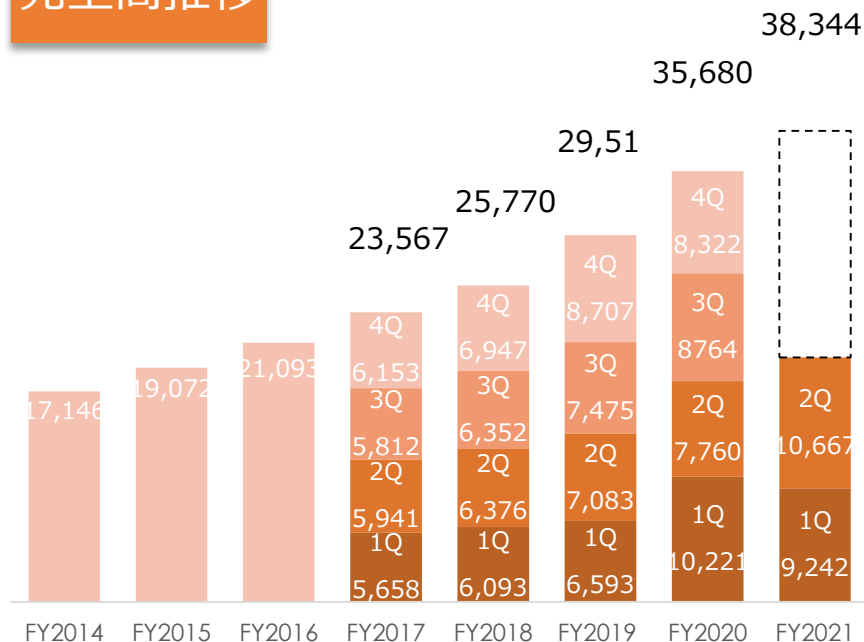
市場規模、当社の売上高ともに堅調に成長。
 中小規模ディーラーの集約化が進む中、M&Aでシェア拡大を目指す。

輸入車新車マーケット規模

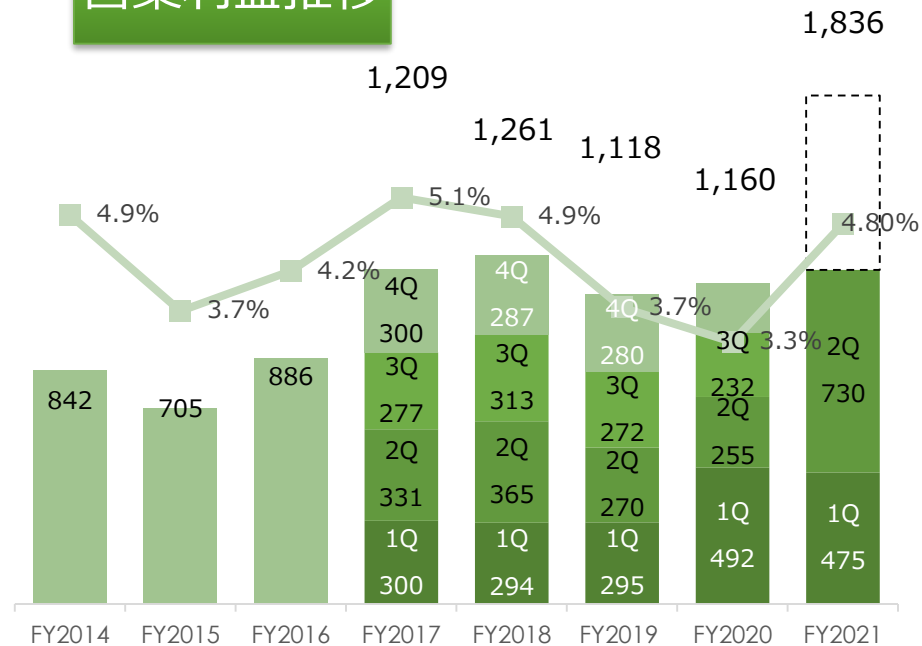


業績データ

売上高推移



営業利益推移



株価・出来高推移



免責事項・お問い合わせ

本資料には、当社（連結子会社を含む）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、情報の正確性等について保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせは下記まで

株式会社ウイルプラスホールディングス IR室

E-mail : ir-info@willplus.co.jp

電話番号 : 03-5730-0589（土日祝除く10時00分～17時00分）

URL : <https://www.willplus.co.jp>

未来に+ α の喜びを

私たちはお客様に輸入車のある生活を提案し、関わる全ての人々を笑顔に変えていく挑戦を続けます